

# 国語科授業ナビシート

小学校 第6学年 組( ) 名( ) 授業者

単元名「繋<sup>つな</sup>がれ！A小っ子！～コロナ禍<sup>か</sup>でも楽しめる遊びを計画しよう～」 第4時／全7時

○本時で育成を目指す資質・能力 (いずれかに○をつける)  
( )知識及び技能 ( )思考力・判断力・表現力等

(○)学びに向かう力、人間性等

○本時における「読み解く力」の視点

仮の結論を出すために、自分の主張と友達の主張を比較し、相違点や問題点、改善点を明らかにしている。【A②】  
仮の結論を出すために、自分の主張と友達の主張を比較し、相違点や問題点、改善点について話し合っている。【B②】

○本時の目標

互いの立場を明確にしなが、計画的に話し合い、仮の結論を導き出すことができる。

○本時の評価規準

## 評価規準

活動をよりよいものにするために、計画的にグループで話し合いながら仮の結論を導き出そうとしている。[主体的に学習に取り組む態度]

## 評価する具体的な児童の姿

- ◎友だちの考えに対して、主体的に相違点、問題点、改善点を伝えたり、担当する学年の状況を考えたりしながら、グループで仮の結論を導き出そうとしている。
- 友だちの考えに対して、良いところや改善点を伝えて、グループで仮の結論を導き出そうとしている。
- △自分の考えを発表しようとしたり、友達の考えに対して意見を述べたりしようせず、グループで仮の結論を導き出すことにつなげようとしていない。

○本時の展開 (めあてや学習課題、学習活動、**予想される児童の姿**、指導の手立て、★評価を行う場面 等)

①学習の見直しをもつ。

・前時の学習を生かして、自分の考えを基に話し合うことを確認する。

### めあて

自分の考えをもとに、意見を出し合いながら、学年に応じた遊びの内容を考え、仮の結論を導き出そう。

・話し合いの視点を確認する。

### 話し合いの視点

話し合いで何を決めようとしているのか、目的を明確にする。  
考えの共通点や相違点等を出し合う中で、解決すべき点に焦点を当てたり、互いに歩み寄れる点を見つけたりする。

②自分の考えを基に、グループで内容を整理し、仮の結論を導き出す。【A②】【B②】★(行動・発言)

◎予想される児童の姿とそれに対する指導の手立て  
**友達の意見に流されてしまう児童**

・グループで話し合っている遊びの内容が、担当学年にふさわしい内容やルールになっているか考えるよう促す。

**自分の主張にこだわりをもっている児童**

・自分の主張が、担当する学年に応じたものになっているのか、意見を求めるよう促す。  
・自分の主張と友達の主張の相違点や問題点を比較するように促す。

**自分の主張と友達の主張を比べられる児童**

・自分の考えと、友達の考えとの共通点や相違点を見つけたり、相違点、問題点、改善点を話し合ったりして仮の結論を導き出せるようにする。

③学習を振り返る。

・学びの足あとシートに本時の振り返りを書くように促す。  
・振り返りの視点として以下を示す。

誰とやりとりをしたか  
わかったことや考えたこと  
まだ少し困っていること

<想定する○評価の振り返り>

友達と話し合うことで、自分では分からなかった問題点に気付くことができました。二人の友達の意見と合わせると、遊びが工夫できそうなので、試してみたいです。

友達の意見を聞いて、自分の意見と似ているところに気付きました。下学年のことを考えると、もう少し工夫が必要だと感じたので、ルールを付け足したいです。